

## 2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 2 月 13 日作成)

小委員会名	スマート建築モニタリング応用小委員会	主 査 名：谷 明勲 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会	委員長名：三井和男
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p><b>【設置目的】</b> 建築の計画, 施工, 運用, 維持管理等の各段階で建築の各種情報をモニタリングするシステムに関して, 構造, 環境, 計画の各分野, および研究, 実務分野それぞれの視点から分野横断的に整理し, 技術動向の調査やスマートシティへの応用性について, より実践的な検討を行うことを目的とする。</p> <p><b>【各年度活動計画】</b></p> <p>2013年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会を年 4 回開催し, 必要に応じて見学会を開催する。</li> <li>・2013年度日本建築学会大会で, 感性システムデザイン研究小委員会と合同のオーガナイズドセッションの設置と研究発表を実施</li> <li>・情報システム利用技術シンポジウムにおける「スマート建築モニタリング」セッションの設置と研究発表の実施</li> <li>・センサワークショップの開催</li> </ul> <p>2014年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会を年 4 回開催し, 必要に応じて見学会を開催する。</li> <li>・情報システム利用技術シンポジウムにおいて, 他の小委員会と連携した研究集会またはオーガナイズドセッションの実施</li> <li>・センサワークショップの開催</li> <li>・他学会と連携した研究集会の開催</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：谷 明勲 (神戸大学) 幹事：遠田 敦 (東京理科大学), 倉田 成人 (筑波技術大学), 山邊 友一郎 (神戸大学) 委員：加賀 有津子 (大阪大学), 白石 理人 (清水建設), 新宮 清志 (日本大学) 杉本 照彦 (竹中工務店), 登川 幸生 (日本大学), 長尾 嘉満 (早稲田大学) 中川 純 (レビ設計室), 西本 賢二 (ベターリビング), 林田 和人 (早稲田大学) 藤本 郷史 (宇都宮大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2014 年度予算	160,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://www.ajj.or.jp/gakujutsushinko/m-000/m040-12.html">http://www.ajj.or.jp/gakujutsushinko/m-000/m040-12.html</a>

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	1. ゼロエネルギー建築と知的環境シンポジウム 参加者数 76名 『同名資料』 2. 第37回情報・システム・利用・技術シンポジウム ・小委員会企画OS「建築・人間のモニタリング」(感性システムデザイン研究小委 員会と共同) 参加者数 25名 『第37回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集』所収 3. ワークショップ「Arduino でつくる・はかる・みえる・わかる！」 参加者数 23名

大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>目標達成度：85%</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小委員会は、4回開催(4回目は2015年3月開催予定(日時調整中))</li> <li>2. 電子情報通信学会「知的環境とセンサネットワーク研究会」と連携して、同研究会の「知的環境とセンサネットワーク」研究会と同会場で本小委員会主催の「ゼロエネルギー建築と知的環境シンポジウム」を開催した。シンポジウムでは、電子情報通信学会「知的環境とセンサネットワーク研究会」の委員を講師に招くとともに、本小委員会委員も「知的環境とセンサネットワーク」研究会のポスターセッションで発表を行い、有意義な意見交換が行えた。</li> <li>3. 第37回情報・システム・利用・技術シンポジウムで、本小委員会と感性システムデザイン研究小委員会共催のOS：建築・人間のモニタリング(発表件数8件)を実施した。</li> <li>4. 本年度は、2012年度に開催したセンサワークショップの2回目として、基本的な回路の設計方法とプログラムの作成方法について解説と、センサーモジュールの組み立て、計測と結果発表を行うグループワークを実施した。時間的にはタイトなスケジュールであったが、各グループとも特色のある計測、発表を行い、充実した内容のワークショップとなった。</li> <li>5. 新委員の研究内容の紹介とディスカッションを行った。</li> <li>6. 各委員のOSHWの使用状況について報告し、意見交換を行った。</li> <li>7. 性能モニタリング技術の最新動向に関して、センサメーカー等にオブザーバー参加で話題提供を依頼することを検討していたが、スケジュールの関係で本年度は実施できなかった。</li> </ol>
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 性能モニタリング技術の最新動向に関して、センサメーカー等に話題提供を依頼することを検討している(オブザーバー参加)。</li> <li>2. 来年度も、引き続き委員(環境分野)の追加を図る。</li> </ol>
その他	特になし